

ユルリ島モユルリ島の 保全・研究成果報告会



2017年 3月 10日 [金] 18:30～20:30

根室市総合文化会館 視聴覚室 (定員 70名・先着順)

お申込み不要

入場
無料

ユルリ島・モユルリ島は、エトピリカ、ウミガラス、チシマウガラス、ケイマフリ等の北方海鳥類の重要な繁殖地として、「国指定鳥獣保護区」に指定されています。近年、海鳥類は減少しており、ユルリ島・モユルリ島はエトピリカの国内で確認されている唯一の繁殖地となっています。海鳥類の減少要因の1つとして、島へのドブネズミの侵入と定着による影響が考えられており、環境省では平成25年～28年にかけて「国指定ユルリ・モユルリ鳥獣保護区保全事業」を実施しました。

本報告会では、保全事業の取り組み成果と生態系保全に関する調査研究の成果の発表を通して、ユルリ島・モユルリ島の現在の様子について、地域の皆様にお伝えします。

テーマ

～ ドブネズミ根絶に向けた取組と

海鳥類等の保全・研究のいま ～

司会：根室市歴史と自然の資料館 学芸員 外山 雅大

開会・挨拶 18:30-18:45 釧路自然環境事務所 所長 安田 直人

第1部 18:45-19:30

国指定ユルリ・モユルリ鳥獣保護区
保全事業の取組み

① ムルリ・モユルリ島からドブネズミを根絶する
—その挑戦と成果—
(一財)自然環境研究センター
上席研究員 橋本 琢磨

② ムルリ・モユルリ島及び周辺海域の
エトピリカとその仲間たち
(地独)北海道立総合研究機構 環境科学研究センター
道東地区野生生物室長 長 雄一

休憩 19:30-19:40

第2部 19:40-20:20

ユルリ・モユルリ島における調査研究

③ モニタリングサイト1000の取組
(公財)山階鳥類研究所 保全研究室
研究員 富田 直樹

④ ゼニガタアザラシ長期個体数調査
(センサス)結果1974-2016年
北海道大学 農学研究院
研究員 小林 由美

閉会 20:30